

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業名 三陸縦貫自動車道 一般国道45号 高田道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 東北地方整備局
起終点 自：岩手県陸前高田市竹駒町字相川 至：岩手県大船渡市大船渡町字下船渡	延長 7.5km	
事業概要 高田道路は、三陸縦貫自動車道の一部を構成する7.5kmの自動車専用道路であり、三陸沿岸地域の交流・連携促進に大きく寄与するものである。		
H6年度事業化		H10年度都市計画決定
H13年度用地着手		H13年度工事着手
全体事業費 251億円	事業進捗率 44%	供用済延長 0km
計画交通量 11,500台/日		
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 4.0	総費用 (事業全体) 248億円 (事業費：236億円 維持管理費：12億円)	総便益 (事業全体) 981億円 (走行時間短縮便益：787億円 走行経費減少便益：141億円 交通事故減少便益：53億円)
基準年 平成19年		
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 【事業全体】 交通量変動：B/C=4.3(交通量 +10%) B/C=3.6(交通量 -10%) 事業費変動：B/C=3.7(事業費 +10%) B/C=4.3(事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=3.2(事業期間 +20%) B/C=4.7(事業期間 -20%)		
事業の効果等 ・災害への備え（現道が通行止めになった場合の代替路線を形成する） ・安全で安心できるくらしの確保（三次救急医療施設へのアクセス向上が見込まれる）他12項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 高田道路は高規格幹線道路ネットワークを形成するとともに、現道の線形不良による交通隘路区間の解消等に重要な役割を果たすことが期待されており、陸前高田市長をはじめとする首長で構成される岩手県三陸縦貫自動車道整備促進期成同盟会等から早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 【執行済み額】事業費：110億（進捗率44%）うち用地費：17億（進捗率74%）		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 一部用地買収の難航箇所があるため、土地収用法に基づく事業認定申請の準備を行うとともに、任意での用地買収の推進を図る。米崎町～大船渡基石海岸ICの3.4km区間について、平成20年度の暫定2車線供用を目標に事業促進を図る。残りの区間については、平成20年代前半の暫定2車線全線供用を目指す。		
施設の構造や工法の変更等 トンネル断面の見直し（断面縮小）によるコスト縮減を図る。 トンネル円型側溝のコンクリート連続打設工法による作業の省力化・工期短縮によるコスト縮減等		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">凡 例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 評価対象区間 ■ 高規格幹線道路（供用済） □□ 高規格幹線道路（計画中） — 直轄国道 — 補助国道 — 県道以上 </div>	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。